



古屋まさおとともに歩む

友雅会ニュース

発行元：友雅会

定価：100円

〒405-0007

山梨県山梨市七日市場816-7

TEL&FAX 0553-23-6688

■発行責任者：古屋 雅夫

「天候不順にてお体を大事にお過ごし下さい」

6月定例議会

初議会で積極的に政策提言



初議会で一般質問する「古屋まさお」山梨市議

去る6月8日から26日まで平成21年第2回定例山梨市議会が開催された。議題は、①平成21年度補正予算及び国の緊急経済対策等に伴う、国の補助金の追加予算を含めた年間予算（一般会計187億3千万円余）の議決、②これに関する条例改正、③教育関連予算の拡充等の「意見書」採択、④人事案件：選挙管理委員の選出等を主な議題として開催された。

「古屋まさお」市議は積極的に「財政の健全化」「農業の活性化」「協働のまちづくり」「庁舎内の環境の充実・ISO14001の導入」「教育予算の充実」等を中心に一般質問を行った。

「古屋まさお」一般質問内容（要旨）

1. 山梨市の財政の自立化・健全財政に向けた施策と財務の展望について

- 「経常収支比率」の縮減策並びに、今後の事業運営のあり方について。
- 「将来負担比率」について、今後地方税の納税者数の減少、地方交付金の減等が想定される中で向こう3年間の見通し。
- 下水道特別会計について、返済方法等、今後の事業運営について市の見解を。

2. 雇用の創出のための山梨市の取り組みについて

- 平成22年度市職員等の新規採用数及び臨時職員等の雇用創出策に向けた対応策についてどのように考えているのか伺いたい。

3. 「協働のまちづくり」推進に向けた行政の役割分担に基づく協働事業の推進に向けて

- 本年2月に策定された「みんなで山梨市をよくする協働事業推進の方針」では、行政の役割や仕組みづくりについて考え方が示され、市民の参画機会拡充、公募枠の設置、審議会で審査による委託方式が提案されているが、その具体的な委託方式の方法と事業内容について。
- 今後の市民団体等、事業所が協働のまちづくりに参加しやすい環境づくりのための活動の拠点のあり方、並びに各種団体等の人材育成を図るための支援策

4. 環境整備の組織的な取り組みについて

- 「環境・山梨市」に相応しいまちづくりを目指し、本市のアピールやイメージアップ、庁舎内の省エネ

効果や市民・職員への環境問題への意識の向上等が期待される「ISO14001」の取得を検討する価値があると思うがどうか。平成22年度の機構改革にあわせ取得を検討してくと、さらに円滑な体制づくりが図られるものと思うが見解を。

5. 農業の活性化施策具体化推進の取り組みについて

- 農産物の公共施設における地産地消費状況と今後の対応策について。
- 市内大手スーパー誘致に伴う地産地消ができるような行政システムの構築の検討の有無について。
- 全国的に企業の農園への参入の中で、遊休地を含めた活性化策として「企業の農園づくり推進」に向けた検討について。
- フルーツ公園及び山梨県果樹試験場を中心とした地域の立地条件を生かし、果物等の遺伝子情報基地（農業生物資源ジーンバンク・サブセンター）の誘致に向けた検討や農業に関するベンチャー企業の誘致等の検討について。

6. 教育関係の予算等の充実について

- 現場の声をしっかりと聞き取り、プライオリティー付けをしっかりと講じ、山梨市の基本計画である「豊かな心と個性を育む教育と文化のまちづくり」の推進に取り組む必要があると思う。図書館司書については、他業務との兼務配置となっているところがあり、専任配置の要望は市内の多くの小中学校から出されているが見解を。

《これらの質問に対する市の見解は裏面へ》

「古屋まさお」の一般質問に対する市の見解

1、財政の健全化運営

- ①行政の財政バロメーターとされる、「経常収支比率」（平成19年88.7%）及び「将来負担率」は当面・現状の厳しい状況が続くことが想定される。なお、市総合計画の目標値「経常収支比率」（平成23年度末84%）は厳しい。
- ②下水道特別会計は102億1900万円の市債の返済は平成19年度から、資本比平準化債・下水道事業債特別処置分、一般会計からの繰入金（低金利への借り換え）により効果的財政運用で対処している。

2、雇用対策課題

市職員採用数は職員定数適正化計画により、退職等見合いを含め平成22年度職員計画数は404名を達成する。（具体的には別途公募）臨時職員は重要な課題と受け止め対応する。

3、協働のまちづくり

- ①行政提案事業として、団体、事業者、NPO等からの提案・審査を経て事業を決定し予算化する。②また人材育成は、学習機会を設け協働に関する意識や人材の発掘、育成に努める

4、庁舎内にISO 14001システムの導入

現状の庁舎内における「山梨市役所温暖化対策の実

行計画」の推進に力点を置きたい。

ISO（国際環境規格）の取得は、効果は承知しつつ財政・体制の課題も視野に入れつつ慎重に検討したい。

5、農業の活性化

- ①地産地消費は統計的に把握することは困難。試験的な取り組みとして直接農家から購入を含め検討していく。
- ②「企業の農園作り」に向け県と連携し仲介役を担う。
- ③果物等の遺伝子基地（ジーンバンク）の誘致は果樹王国山梨の拠点エリアとして付加価値があり県と連携し対応したい、④農業に関するベンチャー企業等の誘致は積極的に取り組む、⑤大型スーパー参入による地産地消システム作りは県が定めた「大規模集客施設の立地に関する方針」に基づき地域の有益な意見反映を行う。

6、教育予算の充実

- ①各校への教育予算の配分を行い、各校長の教育方針を予算に反映できるよう配分手法を取り入れる。
- ②学校図書館支援には教育ボランティアの協力による地域全体で学校を支援する体制作りを目指す。

本議会で明らかになった主な事項

1、フルーツ公園（富士屋ホテル・上に）モーター

スポーツ施設再開
この夏以降オープン予定。排気量211cc
レンタカーを使用

2、地域交流センター秋オープンに向け機能の充実を目指す

地域の交流の場として足湯、情報コーナー、
ギャラリー、会議施設の充実を図る。
具体的運営方法は検討委員会を設置し市民の
意見を反映していく。

3、子育て支援策

- ①病児・病後児の保育を医療機関（厚生病院）の一部の専用スペースにおいて一時的にお子

さんを預かる事業を行う。（保育所：ひまわり）

- ②「子育て応援特別手当」3歳から6歳まで支給（一人36000円）を本年度に限り、第1子まで拡充する。

4、農林関連事業

農地環境整備、農道整備、新エネルギー推進、
ため池整備等の継続事業（7事業）新規（11
事業）に取り組む。

5、建設関連事業

国庫補助事業（小原後屋敷線、野背坂線、落
合正徳寺線）、をはじめ、道路維持・工事、
道路改良工事を前倒しを含め44件実施する。

地域の活動



ホテル観賞会
(江曾原地区 かにおい橋付近)

協働まちづくり・ホテル観賞会 「江曾原地区」で開催

恒例の「山梨市万葉歌祭り・
ホテル観賞会」に伴い、江曾
原地区（兄川）においてホタ
ル観賞担当を「NPO法人都
市農村交流支援センター」が
協働のまちづくりの一役を担
う。ボランティアの一員として参
加。会場では「手作りおで
ん、かき氷の販売」もあり、
多くの市民が、「カジカ蛙」
の泣き声を聞きながらホタル
観賞を楽しんでいた。

「企業の農園づくり」の 推進に取り組む

(6月27日)

農業の活性化策の一
つとして、企業の農園
づくりに向け、県など
本格的に力を入れ始
めてきている。議会
その推進を取り上げ、
地元農家の仲間と
その実践を推進して
大根づくり等